

事業所名 グループホームカーサハモニカ
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士
B:現職 理学療法士、ガイドヘルパー講師
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- 岡山市の東部、三笠山や浦間茶臼山古墳を後ろに控えた団地の一角にホームがあり、周りには田園地帯が広がっている。居室の窓やバルコニーからは、四季折々の変化を楽しむことができる。
- 法人は特別養護老人ホームを中核に、訪問看護・訪問介護・通所介護・ケアハウス・有料老人ホームなどのサービス事業を複合的に展開しており、高齢者支援体制が確立されている。また、地域のボランティア団体からの協力体制もある。
- 中庭を設けており、廊下やリビング、食堂に居ながら風にそよぐ木の様子等を眺められる。当日は、常緑樹に設置が降りしきる様子が見え、唱歌の「雷」を口ずさんでいる入居者もおられた。
- 建物の1階と2階に各ユニットがあり、どちらも明るく清潔である。所々に置いてあるソファの色も、淡いピンクとパールラベンダー色で統一されている。ユニットごとに特徴があり、1階のユニットは手芸などが得意な方が多いようで、様々なクラフトや手芸作品を展示している。2階のユニットは活発に活動される方が多いようで、体操をしたり会話が絶えなかった。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- 食事は、他の入居者や職員との関係作りや団樂の楽しいひと時でもあり、配膳の準備や後片付け、食卓を囲んでのおしゃべりなど、より一層食事を楽しめる環境作りを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に優しい施設作りを目標とし、「受容の態度」「優しい言葉遣い」「明るい笑顔」を、毎日のケアの指針としている。 入居者それぞれのペースで暮らしてもらい、精神的に落ち着いた生活の中で、認知症の進行が少しでも食い止められるよう日々努めている。 地域の中に根ざしたグループホームであり、地域のボランティアの人等、地域の人たちと一緒に作り上げていきたいと考えている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 入居者一人ひとりに担当者を決め、担当職員と二人で外出して食事をしたりしている。その際には、これまでの暮らしの中での様々な体験や普段は聞けない話等を入居者から聞くことができ、よりその人らしく暮らしてもらうためのアプローチの第一歩ともなっている。 皆が集まるリビングや廊下の曲がり角のソファ、畳のある和室等、気の合う人とおしゃべりをする等、用途に応じて使い分けられる居場所作りを行っている。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援		○
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 面会者には、事務所で個人別の面会簿に記入してもらっている。面会簿については、家族に見てもらいファイルに綴じている。個人ファイルや記録類は事務所に保管し、個人情報が出ることがないように徹底している。 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと支援している。毎日、献立を書いて所定の所に張り出している方や、廊下を掃いたり、花の水遣りをする担当の方もおられ、役割を持つことで充実感を味わってもらえるように取り組んでいる。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 法人内で、感染症対策委員会・事故防止リスクマネージメント・身体拘束廃止等の各委員会を定期的に開催し、職員全体のサービスの質の向上に取り組んでいる。また、新人研修制度やフォローアップ研修など研修制度が充実しており、職員育成にも熱心に取り組んでいる。 医療機関との充実した協力体制やペットボトルを利用した室内の乾燥防止、一日数回の健康チェック、風邪の季節には面会者にマスクを出す等、入居者の健康維持に向けたしっかりとした取り組みがある。 入居者一人ひとりの担当者を決め、入居者との信頼関係を深めている。毎月、担当者から家族へ入居者の状況を伝える便りを出しており、家族とも信頼関係を築いている。担当職員が変わることがないよう配慮している。 		